

汚濁防止膜を設置しても、漁業被害を防止する効果は期待できない。

- 1 汚濁防止膜を設置しても、濁りが削減されるのは、アサリ・カキ漁場のごく僅かな区域であり、諫早湾内のほとんどのアサリ・カキ漁場では効果がない。逆に、濁りが増加するアサリ漁場が明らかとなっている。
- 2 海水の出入りの際、汚濁防止膜の下が開き、底部の浮泥等が移動し、アサリ漁場等へのガタ土等の堆積被害は防止できない。
- 3 汚濁防止膜により潮流が遮断されるため、アサリ、カキへの栄養分の供給が減少し、水温調整も困難となり、成長阻害が生じる恐れがあるにもかかわらず、検証されていない。

地点名	開度90cm	開度60cm	開度60cmに加え、汚濁防止膜を設置	現況
P 1	50	28	51	17
P 3	113	95	32	47
P 4	22	18	26	12
P 5	19	17	13	11
P 6	40	27	60	16
P 7	36	29	10	21

汚濁防止膜を設置しても、ほとんどの地点において現況より濁りは増加する。

汚濁防止膜を設置しても、濁りが減少するのは漁業が行われている地点（青色）ではなく、逆に、汚濁防止膜を設置することで実際に漁業が行われている地点（赤色）では、濁りが増加する。

